

青東小だより



藤枝市立青島東小学校
学校だより No. 13
令和6年1月29日

笑顔あふれる学校

1年で一番寒い時期を迎え、立春が待ち遠しい毎日です。底冷えする陽気の中、子供たちは元気に外で遊んでいます。2学期末は本校でもインフルエンザの感染が拡大しましたが、3学期は新型コロナウイルス感染症の連絡が増え、予断を許さない状況が続いています。今一度気を引き締め、感染防止対策に努めてまいります。ご家庭でもお子様の体調管理にご留意ください。

先日、本校にも大谷翔平選手から寄贈されたグローブが届きました。このグローブと一緒に、「このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。」とメッセージが添えられていました。

大谷選手は野球を通して夢をもち、あきらめずに努力を積み重ね自らの人生を切り拓いてきました。みんなが大谷選手のようになれるわけではありませんが、誰でも夢をもつことはできます。その夢に向かってがんばるときこそが輝く瞬間です。一人一人が夢や希望をもち挑戦する気持ちを忘れないでほしい、そんなメッセージがこのグローブに込められている気がします。このグローブを手に取りながら、大谷選手のメッセージも感じてほしいと願っています。



2月の主な行事計画



6	火	ｽｸｰﾙｶｯｼﾞｰ-来校日	14	水	新1年生入学説明会(午前)
7	水	授業参観・懇談会(高、6・7組)	15	木	PTA新旧専門委員長引継会
8	木	// // (低)	18	日	家読の日
9	金	読書週間 本日まで	20	火	ｽｸｰﾙｶｯｼﾞｰ-来校日
11	日	建国記念の日	21	水	6年生を送る会
12	月	振替休日	23	木	天皇誕生日 学校安全の日
13	火	ｽｸｰﾙｶｯｼﾞｰ-来校日	28	火	ｽｸｰﾙｶｯｼﾞｰ-来校日

公園の使い方について

放課後は、公園で元気に遊ぶ子供たちの姿が多く見られます。先日、地域の方から心配なご連絡をいただき、全校に指導しました。

- ・ ボール遊びは、公園の外にボールが出ないように向きを考える。
- ・ 自分が出したお菓子等のゴミは、捨てずに持ち帰る。

ご家庭でもお声をかけてくださるよう、お願いします。



ネットバンキングへのご登録はお済みですか？

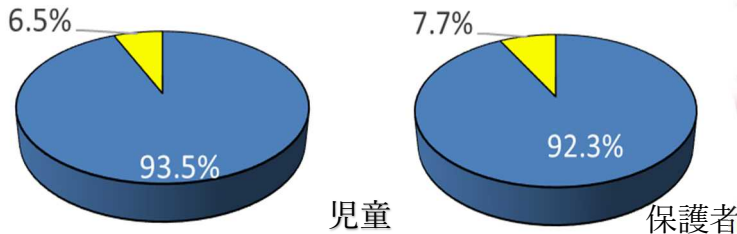
しずおか焼津信用金庫へのスマートフォンアプリによるご登録はお済みでしょうか。手続き期間が1月31日(水)となっております。手続きがまだのご家庭は、至急ご登録をお願いします。(対象は、1年からの5年のご家庭です。)

令和5年度 青島東小学校「学校生活アンケート」の結果報告

今年度、児童・保護者に実施したアンケート結果を分析しましたので、ご報告します。このアンケート結果から見える成果と課題を踏まえ、来年度の教育活動を計画していきます。

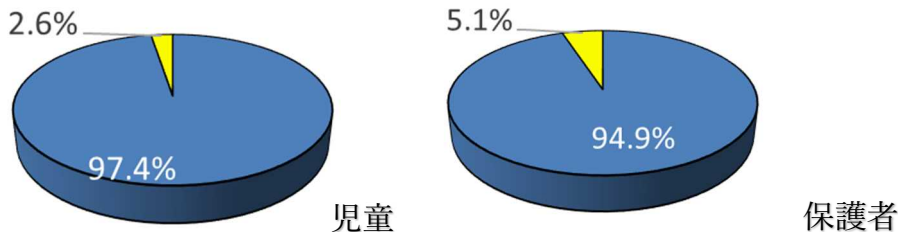
■ あてはまる ■ あてはまらない

1 学校が楽しい（児童） お子さんは楽しく学校に通っている。（保護者）



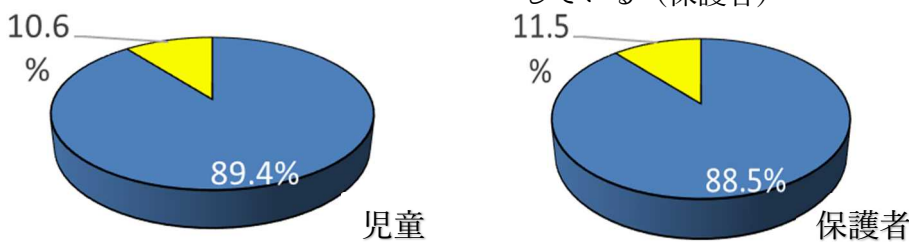
「学校が楽しい」「子供は楽しく学校に通っている」と感じている児童・保護者の割合は、今年度も高い割合になりました。学校生活を楽しみにしている子供が多いこと、子供達にとって安心して生活できる学校になっていることが感じられます。JAS（J＝授業・A＝あいさつ・S＝サポート）を本校の自慢として、子供主体の教育活動を大切にしています。また、コロナ禍で制限されていた教育活動が実施できるようになり、運動会・音楽会等、工夫しながら取り組む中で子供達の成長や笑顔につながりました。一方、肯定的な回答をしていない子供がいることを心に留め、どの子も「学校が楽しい」と思えるよう一人一人に寄り添いながら、子供の自己実現を全職員で支え、引き続き、学校教育目標「笑顔あふれる学校」に向けて、取り組んでいきます。

2 友達と仲良く生活する（児童） お子さんは友達と仲良く生活している（保護者）



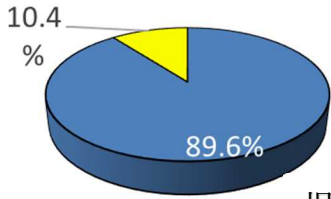
「友達と仲良く生活している」と感じている割合が児童、保護者とも高い割合となっています。自然に友達にあたたかな言葉を掛けたり友達を助けたりする場面が、日常生活で多く見られました。友達と一緒に学んだり、生活したりしている中で、あたたかな心を実感できたことの成果だと考えます。今後も、より豊かなかわり合いがもてるよう、学習や生活の様々な場面でピア・サポートを大切にしていきます。

3 授業がよくわかる（児童） お子さんは授業の内容を理解している（保護者）



研修テーマ「聴いて 考え つなげる授業」を目指し、共生の学びと確かな学びを大切に、日々授業づくりに努めてきました。目指す授業について学級で話し合い、子供自らが主体的に学ぶ姿を大切にしています。また、1人1台タブレットを活用した授業や高学年の教科担任制による授業にも積極的に取り組んでいます。今後も「わかった、できた」と子供自らが「学びを実感する授業」を目指し、実生活に役立つ知識や技能を身に付けていくために、学習している内容がどんな場面でのように役立つのかを意識しながら、学校全体で研修に取り組んでいきます。

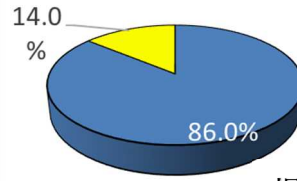
4 あたたく聴くことができる (児童)



児童



5 やさしく話すことができる (児童)

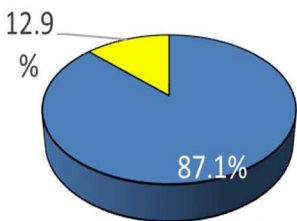


児童



「あたたく聴く やさしく話す」は、学校全体の合言葉として浸透しています。授業では、相手の思いをわかろうとして聴く、相手にわかりやすく伝えようとして話す力が育ってきています。今年度も「授業を見合う会」を年2回行いました。また、「あたたく聴く・やさしく話す」を意識する姿は、授業の中だけでなく生活や行事等、様々な場面で大切にされています。さらに自分から発信する力を高めていけるよう、取組を継続していきます。

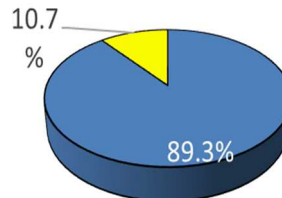
6 自分にはよいところがある (児童)



児童



お子さんは、自分にはよいところがあると
感じている (保護者)

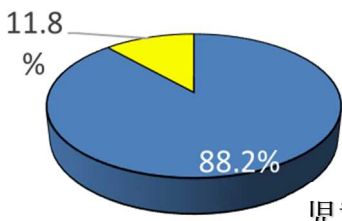


保護者



近年の課題として、自分のよさを感じられなかったり、自分に自信をもてなかったりする姿が見られています。そこで、今年度は、子供の自己実現を支えることを全職員で意識して取り組んできました。どの子にもよさがあります。そのよさを自分自身が実感したり、認められたりすることで、自己肯定感が高まっていくと考えます。子供達のよいところをさらに高め、自信につながるよう活動を充実させていきます。地域や家庭においても、あたたかな声をかけていただくことで、子供たちの健やかな成長につながります。今後とも子供たちが自分のよさを感じられるよう、地域や家庭と連携していきます。

7 友達のよいところを見つけている (児童)

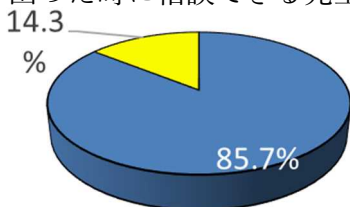


児童

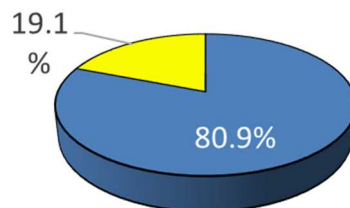


学校全体でピアサポートを大切にしています。帰りの会や行事での振り返り等、友達のよさを伝える時間を意図的に作ってきました。そのような日々の取組を通して、「あたたかな心を実感する」ことができます。友達のよさを見つけ、それを言葉で伝えられる子供達が増えています。

8 困った時に相談できる先生がいる (児童) 学校には困った時に相談できる先生がいる (保護者)



児童

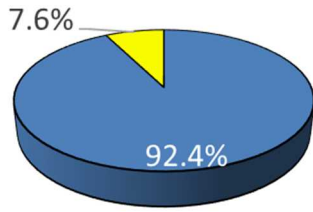


保護者

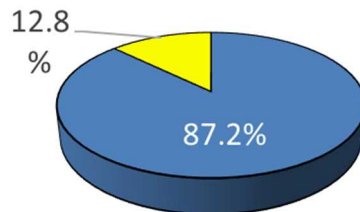


自分自身の力で、あるいは友達と協力して困難を解決する力を養いながら、必要な時には子供に寄り添うことができるよう、努めています。どんな時も子供を中心に据え、「子供が安心して学べる学校づくり」を進めていけるよう、全職員で子供を見守っていきます。保護者の皆様にとっても相談しやすい学校であるよう、努めて参ります。

9 週5日以上、家で勉強している (児童・保護者)



児童

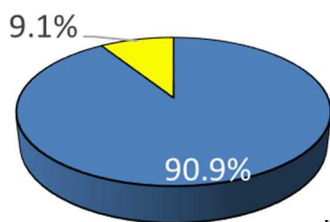


保護者

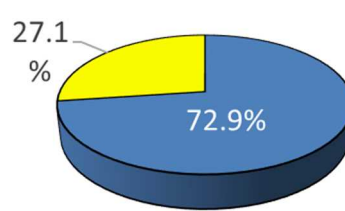


家庭での学習習慣が身についている子供が90%以上となり、昨年度より割合が増加しました。個に応じた内容に意欲的に取り組んだり、発展的な学習を自ら進めたりできるように啓発してきました。今後も、家庭と連携しながら自ら学ぶ姿を大切に家庭学習を進めていきます。

10 おはよう・こんにちは・さようならのあいさつが自分からできる (児童)
お子さんは、家庭や地域であいさつが自分からできる (保護者)



児童



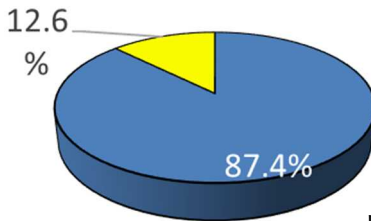
保護者



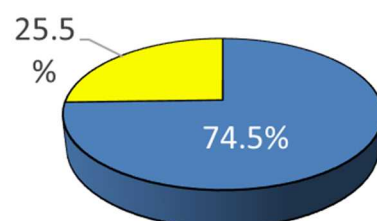
本年度も、児童会が中心となってあいさつに取り組みました。代表委員会や各学級でもあいさつについて活発な話し合いがなされ、目を見てあいさつ、名前を付けてあいさつ等に取り組みました。また、「あいさつからはじまる自分づくり・絆づくり」を掲げ、学校運営協議会の方々やPTA、中学生による朝のあいさつ運動も行われました。それらの取組により、あいさつに対する意識の高まりを感じます。さらなるあいさつの充実に向け、「おはよう」のあいさつだけでなく、ありがとうやどうぞ等、自然と笑顔になれるようなあいさつに取り組んでいきます。

11 夢や目標を持っている。(児童)

お子さんは夢や目標を持っている。(保護者)



児童

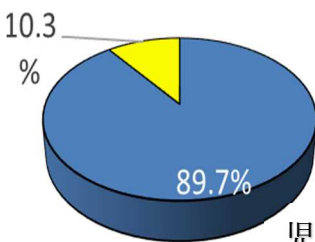


保護者

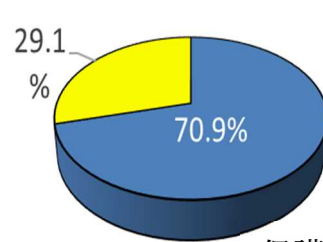


子供が夢や目標を持って生き生きと生活する姿を私達は願っています。夢や目標は、短期的なものから長期的なものまでありますが、児童が自分の夢や目標に向かって取り組み、自分の成長を実感できるように、サポートしていきます。

12 ゲーム機、スマートフォン、パソコン等を家の人との約束を守って使っている。(児童・保護者)



児童

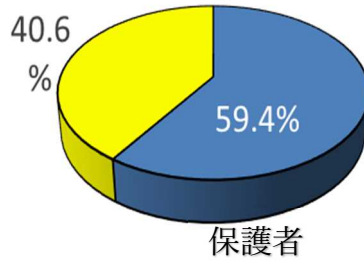
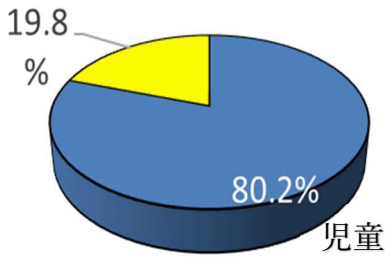


保護者



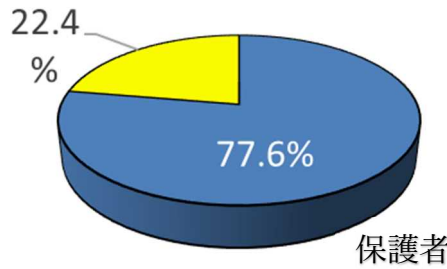
一人一台タブレットが配付され、3年が経とうとしています。端末操作に慣れ、様々な場面で活用できるようになりました。情報機器は、未来で活躍する子供達にとって、必要不可欠なものであり、どう活用していくかが大事になります。高学年では、外部講師による情報モラル講座の実施、その他の学年でも、発達段階に応じた情報モラル指導を行っています。今後も、児童がゲーム機、スマホ、PC等とうまく向き合えるように、家庭や地域と連携しながら取り組んでいきます。

13 家読をしている（児童・保護者）



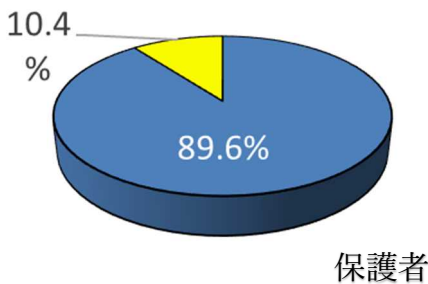
青島地区小中学校では、毎月第3日曜日を「家読の日」としています。「家読をしている」と回答する割合が増え、自然と生活の中にも読書が浸透してきているのがわかります。図書ボランティアさんによる読み聞かせの会も充実しています。今後も、本に親しむ機会を増やしていきます。

14 お子さんは子供会や地域の行事に進んで参加している。（保護者）



地域の中で、子供達を育てようと地域の方々が子供達とのかかわりを大切にしてくださっています。防災、清掃、祭り等の地域の活動に積極的に参加することを通して、子供達が地域の一員として、笑顔で過ごすことができている。

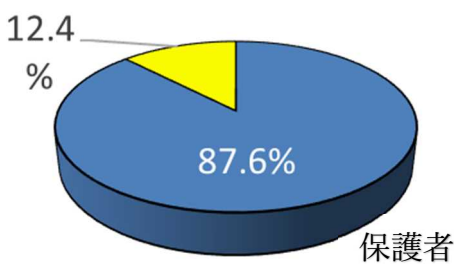
15 学校は授業や学校行事など、保護者や地域に開かれた取組をしている。（保護者）



子供の成長と活躍を家庭・地域・学校が一体となって支えていけるよう、取り組んできました。今後も、学校運営協議員をはじめ、地域の皆様のお力をお借りしながら、地域の自慢となるような学校づくりを進めて参ります。



16 学校は学校だよりや学年だよりなどで、学校での子供の様子を伝えている。（保護者）



今年度も、学校便り、学年便り等で、子供の様子を伝えてきました。特に、学校便りを毎月「さくらメール」で配信することで、タイムリーかつどこでも見られるようにしています。また、今年度は、人数制限を設けない形で、授業参観や運動会を開催することができました。音楽会の様子については、保護者の皆様に全校での音楽会の様子を配信しました。今後も、いろいろな方法で学校の「見える化」、子供達の様子を伝えていけるよう努めていきます。

児童、保護者、職員に実施したアンケート結果を見ると、地域・保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、子供達は落ち着いた学校生活を送ることができていることを改めて感じました。来年度に向け、今年度の取組の中から学んだことを生かして、学校教育目標「笑顔あふれる学校」、重点目標「学びを実感する・成長を実感する・あたたかな心を実感する」を目指し、職員一同、力を合わせて取り組んでいきます。引き続き、学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。